

匝瑳市消防委員会
— 会議結果概要 —

○開催日時 平成29年10月31日（火）
午前10時00分～午前11時15分

○場 所 匝瑳市役所議会棟2階第2委員会室

○出席委員 第1号委員 山崎等、石田加代、宮内康幸
第2号委員 石田進康、秋山忠史
第3号委員 畔蒜晴夫、藤井嘉徳、及川重幸、子安馨、
鈴木淳一

（名簿順）

○欠席委員 第2号委員 山崎克男
第3号委員 太田康晴

○市出席者 太田安規市長
（事務局／総務課）宇井和夫課長、土屋修主幹、塚本裕也副主査

1 開 会

2 市長あいさつ

- （1） 太田安規匝瑳市長あいさつ
- （2） 藤井嘉徳匝瑳市消防委員会委員長あいさつ

3 議 事

- （1） 消防団の現状について（報告）
 - （ア） 組織について

<事務局説明>

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○消防団員の実人数について、消防団員の欠員がでている状況であるが、昨年度の実人数が何名であったか。

<事務局>

昨年度における団員の実人数は662人である。

○消防団の再編等について、団員の減少傾向が続いている。何らかの方向性を持った施策が必要ではないか。また、就労関係における社会的変化により、実際の有事の際に出動できる部が限定的になっており、根本的な梃子入れが必要ではないか。

<畔蒜委員>

私が消防団団長であった旧八日市場消防団時代においては、長い期間をかけて全部の部が座談会方式にて、話し合いにより自主的に部の統合を図った経過があるが、今回については行政側で部の統合や分団の再編に係る（案）を作成し、団幹部と協議していく形が良いのではないかと考えている。

なお、部の統合等については、全部の分団で行うということではなく、統合の希望がある分団を優先し、積極的に進めてもらいたい。

<山崎委員>

実際の有事の際に機能を果たすことが消防団に課せられた使命である。団員確保の実情は非常に厳しく、私の知る所では椿海分団において、再編の計画があると聞いています。そのような中で、10月5日に吉田地区で発生した建物火災においては、消防団経験者等による初期消火で鎮火した事例もあり、そのような人材を活用した団組織の変更等を検討していく時期が来ている。

<秋山委員>

人口減少により、新規団員の加入が困難な傾向が続いているため、他自治体の消防団でも採用している機能別消防団を考えていかなければ、今後の消防団運営上において、支障が生じる。

<事務局>

今後の消防団組織の在り方については、団幹部及び消防団員各位の意見を伺い、協議・検討のうえ、方向性を決めていきたい。

<山崎委員>

本会議が匝瑳市消防団における最高の意思決定機関である。今後の消防団組織の在り方については、もう検討ではなく、すぐに実行に移す段階であるため、早急な対応をお願いしたい。

<事務局>

団員の確保に向けた統合・再編については、地元、団員各位の意見を伺い、消防団と協議していきたい。また、団員の確保に向けた具体的な施策については、機能別消防団員の取り組みを行っている芝山町消防団等の先進事例について調査・研究を行い、資料等を整理したうえで、消防団及び市内部において、協議・検討していきたい。

○消防委員会を年2回実施することは可能か。可能であれば開催を望む。また、委員会の招集権は誰が有しているのか。

<事務局>

匝瑳市消防委員会条例においては回数の記載はない。また、委員会の招集権は、委員長が有している。

本委員会の開催については、匝瑳市消防委員会条例第2条に則した中で、委員長と相談していきたい。

<太田市長>

消防団員は可能な限り多く確保したいため、体制づくりを考えていきたい。また、機動力のある消防団づくりのためには、消防団の再編等が必要である。加えて、機能別団員、女性消防団員、企業内による消防団結成等を含めた消防行政の充実に向けて努力していきたい。

○女性消防団員が担う具体的な役割について伺いたい。

<事務局>

防火に対する啓蒙活動や消防団行事における支援等が想定される。

＜畔蒜委員＞

県下における女性消防団員については、現状、あまり効果的に機能していないと思う。

（イ）報酬、費用弁償について

＜事務局説明＞

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○団員等の団員報酬の見直しは図れたが、団本部役員等の団員報酬は変更がないままである。報酬額が安いのではないか。そろそろ見直しをお願いしたい。

＜事務局＞

団本部役員等の団員報酬については、近隣消防団の状況を調査し、進めていきたい。

＜山崎委員＞

先進事例として対応してもらいたい。

＜太田市長＞

消防団の運営については、団員の装備等の充実に重点を置いて予算配分してきたため、装備品に関しては近隣消防団に引けをと取らない。団員報酬については、総合的な見地から増額できる環境を整えば対応していきたい。

（ウ）消防車両、施設等について

＜事務局説明＞

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

○平成30年度の更新予定車両について伺いたい。

＜事務局＞

更新予定の対象車両については、栄分団第4部のポンプ車、豊和1部の水槽付積載車、中央4部の水槽付ポンプ車、野田5部のポンプ車である。

<山崎委員>

中央4部の車両については、他の分団と比べて大型である。更新が決定された場合、車両の仕様について、分団との綿密な打ち合わせを望む。

<事務局>

中央4部の車両の車両は、I A型と呼ばれる大型車両であり、更新環境が整い次第、分団との綿密な打ち合わせを実施していきたい。

(2) 消防団事業の実施状況及び実施計画について（報告）

<事務局説明>

資料に基づき説明。

主な意見、質問及び回答等

※特になし

(3) その他

主な意見、質問及び回答等

○横芝光町消防団が小型ポンプ操法用の小型ポンプを有していると聞いたことがある。匝瑳市消防団は保有しているのか。

<事務局>

小型ポンプ操法用の小型ポンプは保有していない。

<山崎委員>

小型ポンプ操法用の小型ポンプについて消防組合に確認したところ、揚水や送水等における性能の差は歴然とのことである。操法大会において更なる上位を目指すため、購入を要望したい。

<太田市長>

要望事項については、調査・研究及び検討していきたい。

4 閉 会